

各位

全3ページ
登録速報(2018-127)
2018年4月25日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。
適用拡大登録年月日：2018年4月25日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号： 第 21259 号
名称： スタークル液剤10
(三井化学アグロ(株)登録)

2. 適用病害虫の範囲又は使用方法の変更の内容

農薬登録申請書第7項中、次の事項を追加する。

- ・ 作物名「稲」の適用病害虫名「ウンカ類」の希釈倍数及び使用液量に「30倍」及び「3L/10a」を、使用方法「無人航空機による散布」で追加する。

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容 農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」の(2)を以下のとおり変更する。

【変更後】

- (2) 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
- ③ 無人航空機による散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用すること。

【変更後】

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジ/テ/フ/ンを含む農薬の総使用回数
稲	—	ウンカ類	30 倍	3L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	無人航空機 による散布	4 回以内 (育苗箱への 処理及び 側条施用は 合計 1 回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人航空機 散布は 合計 3 回以内)
			16 倍	1.6L/10a				
		ツマグロヨコバイ	1000 倍	60~150 L /10a			散布	
			300 倍	25L/10a				
		ウンカ類 カメムシ類	8 倍	0.8L/10a			無人航空機 による散布	
			30 倍	3L/10a			空中散布	
だいず	—	カメムシ類 フタスジヒメハムシ	1000 倍	100~ 300 L/10a	2 回 以内	散布	3 回以内 (は種時の 土壌混和は 1 回以内、 散布は 2 回以内)	
			無人航空機 による散布					
		カメムシ類	8 倍	0.8L/10a		空中散布		

【変更後】

8. 使用上の注意事項

(1) 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきること。空容器は圃場などに放置せず、3 回以上水洗し適切に処理すること。洗浄水はタンクに入れること。

(2) 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。

- ① 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
- ② 少量散布の際には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
- ③ 無人航空機による散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用すること。
- ④ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- ⑤ 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- ⑥ 作業終了後は次の事項を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

- (3) 本剤を希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (5) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
- ① ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (6) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上